

# 早く動きましょう!

# 片桐英数塾通信

## 「演習」が未来へのキーワード!

毎年このことですが、二月という月は、高校生は大学受験の本番を迎え、中学生は公立高校の受験に向かう最後となる重要な月です。当たり前のように緊張感が高まります。緊張などできるだけしたくないのが人の常なのですが、緊張するからこそ、様々なことに感動もするし感謝もします。何より、人間的にも大きく成長できます。他人事のような書き方をし、申し訳ないのですが、だから、わたしはみんなが成長していつかのを実感できる二月という月が好きです。

高生はいよいよ受験本番です。小学六年生対象の「新中一準備講座」から通っている子もいたり、キッズコース(パズル道場、算数MAX)から通ってくれている子もいたり、当塾との付き合いも、六年を超える人もいます。これまでのいろいろなことを思い出すと、いろいろなことを考えてしまいます。が、とにかく、これまで自分のしてきたことを信じて、落ち着いて試験に臨んでください。

そして、二月ということ、は、次の共通テストまで、一年を切ったということになります。共通テストは来年が初めてなので、これまで通り、来年もまだセンター試験があるものとして、センター試験の対策を基準に書いてみようかと思いませんか。ただ、前回の塾通信にも書きましたが、恐らく、これまでのセンター試験よりも問題量、語句などの量が増えると思われまふ。ということ、単純に考えてみて、これまで以上にスピード

を求められることが予想されます。したがって、これまでのセンター試験の対策のペーイスよりも前倒しして対策をしておく必要があるかと思えます。それに加えて、英語では筆記とリスニングのバランスが半々に変わってしまします。これまで以上にリスニングの対策に時間を割く必要が出てきます。ということ、は、しつこいようですが、やはりセンター試験の対策をするよりも、共通テストの対策をする方が、時間をかけなければならぬなりそう

です。高生は二月に何をすればよいのでしょうか。もうすでに志望校に向けて動き始めている人もいるかと思えます。が、この時期、まずは自分の力を知っておくことが大切です。そのため、実際にセンター試験の問題を、時間を測って実際に解いてみて

自分がどれくらい得点できるのかを試しておくのが良いです。それと同時に、志望校に合格できるかを考えておく必要があります。

どうすれば合格できるかを考えるには、来年の一月半ばにある共通テストの実施日から逆算して考えるのが良いと思えます。ただ、大学の試験の形式は各大学によって違いますが、共通テストの対策だけではなく、二次試験の対策も考えなければなりません。

センター試験の一月前くらいは、センター試験の対策に明け暮れるのが毎年のこととす。共通テストになったからと言って、そのような感じになるのではないのでしょうか。理想として

は、共通テスト対策に追われる頃までに二次試験の対策に手こたえを感じておいた方が良さそうです。

二次試験の対策は二学期までには入っていた方がよいと思えます。「なんだ、それならまだまだ時間があるじゃないか?」と思う人もいますが、それは違います。受験に必要

な基礎的な力ができていないと、大学受験になりません。やってみないと分からないかもしれませんが、基礎的な力を身に付けるのは時間がかかります。仮に六月に運動部を引退した人が、引退と同時に受験勉強を始めたとしても、九月までに間に合うかどうか。一つか二つくらいの教科だけなら形にはなるかもしれませんが、国立公立大学を狙っている人にとっては、英語、数学、国語、理科、歴史、公民の対策が必要になります。英語、数学、国語の対策は何とかなったけど、理科、歴史、公民の対策が不十分だったと、嘆く人が少なからずいます。その点も考えるのと、ゆっくりもしていられないのです。

これは例年のことなのですが、運動部の人はこの六月頃に部活を引退し始めます。「六月から受験勉強をスタートするぞ!」というので、先ほども書きましたが、受験までの時間が足りなくなってしまうのです。運動部の部活が本格的になるのが四月ぐらいからだと思うのですが、それまでに今から助走付けておくのが良いかと思えます。それができているかどうか、最終的に合格ラインに届くかどうかの分かれ目になっているように感じることがあります。高生はその点を注意しながら、今から動いてほしいと思えます。

ちょっと話は逸れるのですが、スポーツ観戦は好きですか? グランドを一望できるところからスポーツを見てみると「何やってんだ。もつと考えて動かない」となどと、つい解説者のような心持で見えてしまうこと、ありませんか? しかし、実際にグラウンドに立って自分がプレーするとどうでしょう? 観客席で自分が思っていたようにプレーできませんか。見て思うのと、実際にやってみるとは全く違います。しかし、離れたところから見ていて「自分にもできそうだ」と思うと、もう自分ができると思い込んでしまう。これはよくあることだと思えます。

実は勉強も同じです。何となく解説を見たり読んだりして「自分は分かっていた。できそうだ」と思ってしまった。「自分はできる」と思い込んでしまうものはよくあります。しかし、「で」と実際に解いてみないと「あれ? どうすんだ?」と動けなくなるとは入ります。自分が本当にできるようになったかどうかは、自分を試しながら確認するしかないと思えます。遠くから眺めてみて分かった気にならずに、実際に体を動かして解いてみる。これがとても大事です。

とにかく演習がとても大切です。少しでも多くの問題を解き、それを自分のものにしていくことが大事です。演習を深めるには、基礎力がなければ無理だと思えます。基礎が弱いなら、とにかく基礎を急いでください。そして、演習を多くこなしてください。

これまで通りセンター試験が来年も行われると仮に考えて書きましたが、ここまで書いていない対策は必ずでてきます。

早く取り掛かる。今、すべき受験対策は、まずはこれだと思えます。

### 大学入試の傾向・変化

総字数の変化	現代文 (評論)	数学I・A (確率)	英語
1992年度センター	4200字	350字	2620語
2019年度センター	8300字	600字	4015語
2019年度実施 共通テスト試行調査	9660字	1000字	5326語

共通テストでは、膨大な情報や長文を速く正確に読む力がより求められます。高3になってあわてても間に合いません。入試を意識した学習を早期にスタートさせましょう。

### KATAGIRI クイズ

挑戦してみよう!

次の文を和訳しなさい。また、それぞれのthatの品詞を説明しなさい。

I think that that that that that man used is wrong.

こたえはHPで確認してください HPアドレス <http://www.katagirijuku.com>



### 土曜日開講中! 新中1準備講座

小6生対象

#### 英語

中学生になると、いよいよ本格的な英語が始まります。話すためには書くこと、聞き取るためには読むことが大切だと考えています。コツコツと進んでいくのが語学学習の基本です。その基本を楽しみながら身に付けていきましょう。

#### 国語

「文を読む力」「文を書く力」は、どの教科にも必要な大切な力です。国語の力を伸ばすことは、簡単に短期間で出来ることではありません。本を読んだり、作文を書いたりするなど、普段から意識して毎日の学習に取り入れましょう。この講座では、主に、文章を読んで考える記述問題に取り組み、読解力をつけていきます。

#### 算数・数学

クイズやパズルなども利用して「考える」ことを楽しみながら学習していきます。中学数学においても重要な「割合」「速さ」「図形」に関する問題など、小学校で習っている算数を総復習! さらなる計算力の向上も目指しながら確かな力をつけていきます! 中1で学習する単元の先取り学習も行います。

教科: 英語、算数・数学、国語  
月謝: 7,700円(税込)  
開講日: 土曜日 16時半~18時半  
(7/7 活動などで都合がつかない場合はご相談ください)

### 片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の2月のお休みは、**2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)**です。

塾スタッフ募集中!

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

「暴風警報」「特別警報」発令時、その他地震、風水害、雪害等の緊急事態が発生し、授業に支障があると判断した場合は、すべての授業が休講となります。その際は当塾ホームページで可能な限りお知らせいたします。

受験生のみならず! いよいよ受験本番です! 日頃の体調管理に十分注意し、万全の体調で受験に臨みましょう!!